

真珠湾攻撃に関する共同調査委員会の調査書

「真珠湾攻撃」よりの攻撃

第三十三部（一三六三頁—一三六四頁）

ベルリン通信 東京着 一九四一年十月一日

海軍委員会調査書の調査書類

第一一九八號

この三回訪米の第一周年記念の時に際して、外務省リッツベントロツプ氏はドイツ海軍本部から特にベルリンを訪れたので、私は数回彼を訪問しました。此の調査を利用して、私及び委員一同は社員の凡ゆる階級の人々と交はり又彼等を訪問致しました。責下宛の此の報告書中に右訪問によつて得た全ての情報を要約して申述べ、ドイツのいだいてある対日感情の現状を分析して見たいと思ひます。

一、リッツベントロツプ氏は日米交渉内容についての報告はオットー大使には傳へられてゐなかつたにも不測アメリカ方面ではその日米交渉に關して英山と密かに口説があるといふ充分なる證據を握つてゐると述べました。日本の立場を了知してゐると考へられるリッツベントロツプ氏ですら、日本の態度に關し

て、非常な不満の意を表明しました。

二、ザアイゼツケル以下の外務官言吏や一般の人々が日本に對し強固的な態度の意をいだいてゐるといふことは必やその他議員一同に對する彼等の態度からみて極めて明らかであります。

日本に對して好意をよせてゐる人々は全てこの事實に深い苦心をもつてゐます。オットー大使がその電報の中に下した結論と同一の結論に到達しない人々ですら率直に不満の感情を持ち又悲觀的な見解を表明してゐます。私は新兩侍派員及びその他外務省との會談に於ては極めてドイツは日米交渉の件を認めてをり、又向交渉は何等日清間の齟齬を示すものではないといふ立場をとつて居ります。

三、第三回の外交官及び新兩侍派員等は日本の態度に大いなる関心を示し、又或意味に於てはそれをヨーロッパ戦争の成行を判断し得るバロメータであるとの見方をしてゐるやうであります。

しかしながら我々の受けた印象では日本は支那事變による二方戦争の爲以争

を回避しようとしてゐるといふ執持をもつて居り従つて歐洲戦争の成行には悲觀的な態度を保持してゐる者が大多数である。

四、たとへドイツが第三回による日獨協定の陰謀の企てがあるものと覚悟してゐる事又ドイツ自らはその對日感情には何等變化はないといつた振りをしてゐるといふ事等がいひ得られるとしても、ドイツ王儲部及び一般民衆の對日感情が惡化しつゝあるといふ事は疑ふべくもない事實であります。

此の事實に御留意を願ひたいと思ひます。若し日本が熱のない態度をとりドイツとの協定なくしてその交渉を進めるとすればドイツは今後日本との協定なくして如何なる措置をとるやも測り知れない。

陸海軍へも此の報告書傳達方を御願ひします。
ローマへも回電しました。

第二三六七三號

J D -1
秘